

TOYO

包装の  
新提案

液体を包むスティック包装

# 液体スティックスタイル

LIQUID STICK STYLE

ガラス瓶包装からスティック包装へ

*reducible*  
減らせる

便利になる  
*serviceable*

安心できる  
*reliable*



# LIQUID STICK STYLE

## 減らせる *reducible*

### ごみを減らせます

ガラス+アルミキャップ+紙ラベルから軟包装資材だけの包装にすることで、同じ内容を包装する場合の資材使用量が圧倒的に少なくなります。また全体の容積が少なくなるため、箱に一定本数を入れる場合、外箱の外寸総面積が10%以上も少なくなります。加えて仕切りや補強を入れる必要もありません。

### 棚面積を減らせます

10本単位で箱に入れた場合、外箱包装の総面積で約10%、容積では20%以上小さくすることが可能です。運送時や商品棚での配置を考える上でスペースを大きく削減することが可能となり、少ない面積にたくさん積むことや、他の商品への場所として振り分けることも可能となります。

### コストを減らせます

同容量を包装する場合の資材コストをみた場合、ガラス・アルミキャップ・紙ラベルを必要とするガラス瓶包装に比べ軟包装資材だけのスティック包装は60%以上のコストダウンとなります。また外箱の総面積が少なくなる上、補強等も必要ないため二次包装のコストも削減することが出来ます。またリサイクルコストに関しても同じ理由で大幅に減らすことが可能となります。

## 便利になる *serviceable*

### 持ち運びが便利になります

物流時における容積や重量の利点だけでなく、消費者の方が10本入りの箱を購入する場合、箱の大きさが8割程度、重さなら半分以下になり、持ち運びがずっと楽になります。また1本単位での持ち運びもスティック包装なら柔らかくスリムでカバンやポケットに入れて気軽に持ち歩けます。

### 取り扱いが便利になります

薄い軟包装資材であれば熱伝導率の悪いガラス瓶に比べ簡単に冷やすことが出来ます。また飲み終わった後の処理も、ガラス瓶包装のようにごみの分別の必要がありません。回収する場合においても、消費者にとって非常に便利になります。

### 分かり易くて便利になります

50ml 入りのガラス瓶とスティック包装を比較すると、瓶に貼られる紙ラベルよりもスティック包装での印刷可能面積が広く、広告スペースや用法・用量等の注意書きも今までよりも大きなデザイン、大きな文字で分かり易くすることが出来ます。

## 安心できる *reliable*

### 割れないから安心できます

ガラス瓶のように割れたり欠けたりする心配がありませんので、気軽に持ち歩くことが可能です。未開封の状態であれば、落としても中身の飛散もありません。

### 怪我をしないから安心できます

ガラス瓶包装ではガラスの割れ・欠け、またはアルミキャップによって消費者の方が怪我をするケースに配慮せざるを得ません。一方、スティック包装であれば、Rカット包装で4つの角や飲み口を丸くしてやることで利用者の手や口を傷つけることもありません。



### エコだから安心できます

ヨーロッパでは軟包装資材を含むプラスチック容器包装が、ガラスを含む他の代替素材に比べ、軽量化や配送効率の向上など使用段階での利点も見込め、消費エネルギー量と温室効果ガス排出量を大幅に削減できるとの研究報告が出ております。

登録意匠番号 No. 1158788  
No. 1362607

 株式会社 東陽機械製作所

本社工場 〒463-0068 名古屋市守山区瀬古一丁目 623 番地  
TEL. 052-793-1600(代) FAX. 052-794-9636  
東京営業所 〒110-0015 東京都台東区東上野 4-2-3 上野パークビル 4F  
TEL. 03-3843-0628 FAX. 03-3844-9373

URL : [www.toyo-mc-mfg.co.jp](http://www.toyo-mc-mfg.co.jp)  
E-mail : [info@toyo-mc-mfg.co.jp](mailto:info@toyo-mc-mfg.co.jp)